

■（２２）「ネット革命」は将来の教科書に？

チュニジアを発端とした中東の反政府運動はエジプトの長期政権を倒し、さらに周辺諸国に拡大している。映像で飛び込むデモに集まる群衆、あわてふためく政権幹部たち…。社会科の授業が突然、現在進行形で展開されているような状況だ。

キーワードは「フェイスブック」などインターネットの交流サイトだった。エジプト国民の怒りは、３０歳の若者がフェイスブックで呼びかけた「抗議デモ」から始まった。多数の人々が交流サイトを通じて集まり、大きな力となった。チュニジアも同じだった。

フェイスブックは月間利用者が５億人を超える世界最大のソーシャルネットワーキング・サービスだ。私も友人から参加を誘われている。その急速な普及は衝撃的で、創業者らがサービスを立ち上げるまでを描いた映画は話題を集めている。

ネットは情報の世界だけでなく、国の体制をまで変える力を持ったということか。その全体像や背景、向かう先を分析して伝えるのは新聞の役割だ。この「ネット革命」が将来の社会の教科書にどう記されるか。記事が何かの参考になれば、と願っています（山）